

第3章 商工業振興の基本的方向

1 基本的方向

練馬区の商工業振興の基本的方向を、「基本構想」「長期計画」および懇談会の提言を踏まえ、下記のとおりとします。

まちの魅力を活かし、みどりとの調和を図りながら、変化に対応したにぎわいのある産業活動を区民とともに推進する

練馬区は、日本のアニメ発祥の地であり、みどりや農に恵まれたまちとして、多彩な魅力に溢れています。

そして、武蔵大学、日本大学（芸術学部）武蔵野音楽大学等の大学や、70万人を超える区民に支えられた地域コミュニティが存在します。こうしたまちの魅力を活かし、みどり豊かな環境との調和を図りながら、商工業振興を目指していきます。

そのためには、個々の事業者は、厳しい経営状況を打開し、経営力を強化し、時代とともに変化するライフスタイルや消費者ニーズを的確に把握しなければなりません。そして、ライフスタイルや消費者ニーズに対応した新事業の展開や製品、商品の開発の仕組みづくりなど新しい経営環境の整備を行っていくことが必要です。

また、商店街の空洞化が進む中であっては、魅力的な商店街づくり、個店づくりなどを推進し、区内外から来街者を呼び込み、商店街を中心としてまち全体ににぎわいが創出できるような商工業振興を目指していきます。

こうした取組を事業者、産業経済団体だけでなく区民と区が一丸となって手を携えながら、練馬の商工業の未来をともに築いていきます。

2 戦略目標の設定

商工業振興の基本的な方向を踏まえ、区の商工業が目指す将来像を実現するため、5つの戦略目標を以下のとおり設定します。

戦略目標1：まちの魅力を活かした産業活動の推進

練馬区には、アニメ産業や都市型農業、漬物産業、伝統工芸などの区の強みとなる特徴的な産業があります。これらの産業は、「アニメのまち ねりま」「農のあるまち ねりま」といわれるまちの魅力を醸成しています。特にアニメ産業や都市型農業は、ジャパニメーション⁷や食の安全性への社会的な関心が高まる中、今後、ますます発展することが期待されています。

区内商工業の活性化においては、特徴的な産業を商工業と有機的に連携させていくことが有効です。そこで、本計画においては、アニメ産業や都市型農業といった特徴的な産業、いわばまちの魅力を活かした商工業振興を目標とし、こうした産業活動の推進を支援していきます。

戦略目標2：みどり、環境と調和し、発展する産業活動の推進

環境問題への関心が高まり、温室効果ガス排出量削減など地球温暖化防止や資源循環型社会への対応が社会的に要請されています。特に産業界に対しては、その活動が環境に及ぼす影響が大きいことから、企業の社会的責任(CSR)¹³の一環として、自ら主体的に環境問題に取り組むことが求められています。環境に配慮した新技術や製品、商品の開発、普及を通じて、環境配慮を社会に浸透させていく推進力としての役割が期待されています。

また、環境への対応を新たなビジネスチャンスと捉え、商工業の活性化に結びつけていくことも期待されています。

練馬区は、23区で最も緑被率が高く、みどり豊かなまちです。こうした特徴を踏まえ、区内の産業活動においても、みどりとの調和や環境へ一層の配慮が求められます。

本計画では、みどりと調和し、環境に配慮した産業活動の推進を通じた商工業振興を目標として、産業活動の推進を支援していきます。

戦略目標3：変化に対応した産業活動の推進

時代とともに産業構造は変化しています。特に、ここ十数年間での情報関連の技術革新により、情報関連産業が飛躍的に発展したことで、産業活動における情報通信網の利用率は格段に上昇しています。取引先との連絡や情報収集だけでなく、世界中、日本中の製品や商品を、工場や店頭に出向かずとも、会社や自宅にいながら購入することが出来る時代となっています。

また、最近では、モノからサービスの時代といわれるように、消費者ニーズも社会、経済情勢を背景に大きく変化し、多様化しています。

こうした中、区内事業所の多くは、急激な環境変化や構造変化に十分に対応しきれず、厳しい経営状況にあります。そのため、新しい時代に即した事業への転換を図るとともに、時代の変化に対応できるように経営の安定化を図り、人材を確保していく必要があります。

本計画においては、時代の変化に対応した産業活動が営めるよう経営基盤の強化や事業改革の仕組みづくりを通じた商工業振興を目標とし、産業活動の推進を支援していきます。

戦略目標4：まちににぎわいをもたらす産業活動の推進

区内商工業の活性化を図るためには、区内外からの人の往来が増し、まちににぎわいをもたらすことが必要です。そのためには、まちの核となる商店街や個々の商店において、消費者のニーズに合致した商品を揃え、陳列方法や店構えなど消費者を引きつけるような工夫を施すことが必要です。

本計画においては、まちににぎわいをもたらす、商店街や商店など商工業の活性化につながるような産業活動の推進を支援していきます。

戦略目標5：区民とともに活性化する産業活動の推進

練馬区は、人口70万人を超える住宅都市であることが大きな特徴です。こうした住宅都市における商工業の活性化は、単に経済活動の振興だけを目的とするものではなく、地域の多様な課題の解決に寄与し、区民生活の向上につながるものが求められます。

例えば、子育て支援や高齢化への対応、ユニバーサルデザイン⁵の推進など多様な区民ニーズを充足するような製品、商品の開発やサービスの充実を図ることにより、区民の生活の向上に寄与することが望まれます。

本計画においては、商工業活性化を通じて、区民生活の向上につながるような産業活動の推進を支援していきます。